

# 佐倉市議会議員



## 石井ひであきの 議会報告

日頃よりのご支援心から感謝申し上げます。

はじめに、令和6年1月1日の能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、千葉県沖を震源とした地震が何度も観測されております。今一度各自が災害に対する準備を確認し、万が一に備える対策を取っていただきたいと思っております。

今後も市民の皆様のお力になれるよう、私自身も頑張っております。

### 能登半島地震の被災地へ、佐倉市からも職員派遣！

派遣先	派遣期間	従事業務	派遣人数
石川県珠洲市	1月12日～17日、2月9日～13日 1月13日～17日、2月21日～25日	住家被害認定調査 避難所運営支援等	計4名 計5名
石川県輪島市	1月16日～21日 2月27日～3月14日	被災建築物応急危険度判定業務 給水支援活動	2名、計6名 (給水車1台)

※今後も千葉県と連携して、被災地支援に努めてまいります。

令和6年2月25日現在

### ウエルシア薬局「うえたん号」の移動販売が始まりました！

令和6年3月1日(金)から、高齢者等の生活支援や地域の見守り、コミュニティの活性化を目的として佐倉市とウエルシア薬局株式会社との連携協定に基づく移動販売が開始します。

- 佐倉市内31か所の販売場所にて、食料品や日用品を販売
- 事前注文すれば、薬品の販売も可能
- 店頭と同価格でポイントも付与
- 公共料金などの支払いも可能
- 車両に搭載したモニターよりオンラインによる健康・栄養相談



### 運行スケジュール

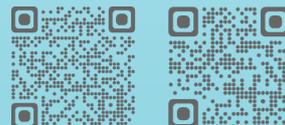
月～金曜日：10時～16時頃(1か所週1回)

※祝日も運行



詳細は【佐倉市こうほう】  
佐倉 HPIにてご確認ください

佐倉市こうほう



# 令和6年2月定例会 一般質問内容(要約)

## 【西田市長二期目の政治姿勢について】

問 西田市政2期目も1年が経過しようとしていますが、「35の約束」と題した公約の達成状況や成果が出ているもの、また今後の意気込みを伺います。

答 西田市長答弁 子ども医療費助成の拡充、市内5つの県立学校との包括連携協定締結など、将来の担い手である子ども達の成長、そして佐倉の未来へと繋がる一步を踏み出せたと考えています。  
引き続き「35の約束」に加え、中期基本計画に基づき市民の安全な生活のため取組に万全を期するとともに、明るく元気な佐倉の未来を創造するための施策にも注力してまいります。

問 能登半島地震の被災地へ支援についてどのような考えで取り組まれているのか伺います。  
併せて、これまでに災害支援に派遣した職員数と派遣期間、具体的な支援内容もお聞かせください。

答 西田市長答弁 千葉県から支援要請に対しては、いち早く支援する旨を知事にお伝えしました。  
支援の内容は、洲本市における住家被害認定調査及び避難所運営支援、輪島市における住家の応急危険度判定及び応急給水活動です。今後も引き続きオール佐倉で支援してまいります。

## 【自治体マーケティングについて】

問 佐倉市の少子化対策や佐倉市観光グランドデザインにもあるように、観光客を集客するための魅力発信や選ばれる街にするために、今後佐倉市をどうアピールしていくのか？

答 佐倉で暮らすメリットを感じる施策や佐倉魅力発信サイト「サクライク」や各種SNSを利用して、佐倉市の魅力をこれまで以上に積極的に発信してまいります。また映画やテレビで取り上げてもらう、フィルムコミッション事業にもさらに力を入れてまいります。

## 【農業の地域計画について】

問 この事業は、農地の有効利用を推進していくために、従来の人農地プランに変え新たに策定されたものですが、机上の空論にならない、実現性・実効性があるものにしていくために、市はどのような方策を考えているのか伺います。

答 市内で農地の保全活動を行っている多面的機能支払い交付金の対象団体24団体については、各地区での農業における現状や課題を把握しているものと想定し、これまで2回の説明会を開催しています。  
農業委員会や県など関係機関とも連携を図りながら、地域での話し合いの場の設置や地域ごとの農業の在り方についての話し合いの場が円滑に行われるように努めてまいります。

## 【児童・生徒の不登校問題について】

問 現在授業の空いている教職員が対応している校内教育支援センターですが、きめ細やかに不登校生徒の心の問題に対応するためにも、学校現場経験者やスクールカウンセラー等の常駐が望ましいと考えますが市の見解を伺います。

答 市内8校に配属している心の教育相談員の運営する相談室に、校内教育支援センターに近い機能を持たせていく事を検討し研修を実施している。

## 【公共交通について】

問 バス停までもいく事が困難な交通弱者のニーズに対応するため、デマンド交通の導入を再検討すべきではないかと考えます。また、モビリティ・アズ・ア・サービス・Maasとして、自家用有償旅客運送やデマンド型乗り合いタクシー等、コミュニティバス以外の新たな交通手段についても市の見解を伺います。

答 現時点ではデマンド交通及び新たな市内公共交通の方向性について具体的な回答はできないが、ライドシェアやMaasなどAIを活用した新技術の導入など公共交通を取り巻く状況は日々進化している中、地域住民の意向やほかの自治体の事例も参考にしながら佐倉市にとって、よりよい公共交通のあり方について検討を進める。

皆様の声をお聞かせください

佐倉市議会議員

石井ひであき

総務常任委員会委員(R5年度)

※ 詳細は【佐倉市議会 HP】をご覧ください

佐倉市議会



TEL: 090-2222-4335 FAX: 043-484-4657

Email: h\_ishii\_sakura@yahoo.co.jp HP: [https://ameblo.jp/hishii\\_sakura](https://ameblo.jp/hishii_sakura)